



ありがとう「ねえみちよって10周年」 編集メンバーから皆様へのメッセージ



中澤 ゆかり

松江での子育てがさらに楽しくなる情報や、頼れるサポートを分かりやすく届けたいという想いで集まった市民有志と松江市広報課のコラボが、気づけば10年経きました。

創刊時は小学生だった我が子達も大学生になり、上京した今あらためて、大変さも喜びも全部ひっくるめて子どもの日々は宝物だと感じます。

毎年、子育て真っ最中の方々や、子育て支援に関わる皆さんのお話を伺うたび、あたたかな想いに触れ胸がいっぱいになります。便利になった分、少し複雑になった今、必要な情報が必要な人へ届き、良いご縁につながりますように。読んでくださる皆様と、素敵な仲間達に感謝します。



松宮 悠人

「みちよって」に関わって、気がつけば10年もの時間が経ちました。みちよっての前段として、松江のご家族の応援企画に携わった頃は「松江のために何かがしたい」という気持ちだけで手足をバタつかせていたように思います。正直、今でも誰かの支えが無ければ何もできない日々…。一つの冊子をこまめに続けてこれたのは、本当に支えてくださった皆さんのおかげです。

松江が好きで、このまちで子どもたちやご家族が笑って過ごしてくれたら、それだけで十分だと思っています。これからも、この素敵な土地で子どもたちの可能性が広がっていくことと、皆さんの毎日が少しでもあたたかい毎日になることを、心から願っています。



中村 和可子

イソガシ、ダケド、イトオシイ

子育て中は慌ただしいし、心配が先に立つしで、カリカリと余裕ない母だったけど、たくさんの人に助けられながら愛おしい時間だったと、自身の子育てを振り返りながら、創刊から本誌編集に携わらせていただきました。こどもたちが、松江に暮らし、松江で育ったことを誇りに思ってくれるといいな♡

親御さんには、自分ひとりで頑張るすぎないで、家族や友だち、専門家、ご近所さんの手を借りながら、たくさんさんのいいところ見つけて、楽しんでもらいたいな◎と、願っています。



田中学

これからも一緒に、子育てが楽しい松江へ！

「気づけば10年。編集チーム一同、皆さんの子育てを応援しながら、実は私たちが一番、取材を通してこの街の魅力に一番ワクワクしていたかもしれません。これからも、ページをめくるたびに松江の素敵なスポットや魅力的な人たちに会える、そんな一冊を心を込めて作っていきます。

これまで以上にパパやママ、そして子どもたちに優しい街になりますように。これからも、どうぞよろしくお願いいたします！



小笠原 知恵

10年という節目を迎えたこの号より、ライターとして参加させていただいたことを大変嬉しく思います！子どもが生まれてからは読者として、身近な存在の一冊でした。

初めての子育てで、特に0歳児の頃は分からないことだらけでした。そんな中、松江市は子育て環境が充実しており、安心して子育てができるまちだと実感しています！

ママさん・パパさんも無理せず休息しながら、それぞれのペースで子育てを楽しんでいただけたら嬉しいです。そのヒントになるような情報を、これからもお届けできればと思います。



麻田 香里

祝10周年おめでとうございます！

編集委員を務めて6年目になりました。

時の流れの速さと、子どもたちの成長に驚く日々です！慌ただしい毎日ですが、松江の綺麗な街並みや景色を見ると自然と気持ちが穏やかになります。

温かいねえみちよってメンバーに囲まれながら、松江のひと・暮らし・スポットなどに触れ合う機会をいただけていつも本当に感謝しています。

本紙を通して、皆様にも松江の魅力を感じていただけたら嬉しいです。



大西 大和

10年間『ねえみちよって』の制作に携わりながら私自身も松江市で子育てをしてきました。その中で子育て環境は随分と拡充され変わった事を実感しています。

これも松江市が子育てに真摯に取り組んできた結果だと思います。一方で綺麗な夕日や自然は松江の親子を包み込みこむ変わらないもあります。どちらも松江市の宝だと思います。

読者の目に止まるような写真になるように子ども達の表情だけではなく松江の風景も写真の中に収めて、松江らしい一冊になるように心がけてきました。10年間多くの皆様に読んで頂きありがとうございました。



松本 朝子

みちよって10周年おめでとうございます！

私自身も松江に移住して気づけば10年目になり、みちよって編集員6年目になりました。3人の子育てをしつつ、みちよってに関わらせていただく中で私自身の子育てへの意識も環境も変わってきた気がします。

みちよっての記事の中でこれまで私が担当させてもらったのは、絶景の公園や、小泉八雲に関わる景色など、昔から変わらない今ある松江の景色に、少し視点を変えるだけで、より子どもと思いつくことのできるスポットになるのではないかと、といった企画たちです。

今後もこの松江の素晴らしい景色と豊かな環境を、みちよってのメンバーやみなさんと共に楽しんでいけたら嬉しいです。

10 YEARS ANNIVERSARY

みなさまに応援されて、「みちよって」はおかげさまで10周年を迎えることができました。これまでさまざまな形で関わってくださったすべてのみなさまに、心より感謝申し上げます。

振り返れば、たくさんの出会いや出来事に支えられながら、ここまで歩んできたことができました。これからも、みなさまに楽しんでいただけるよう、一步一步大切に歩んでまいります。今後とも「みちよって」をどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、これまでみちよってを支えてくださった皆さまからいただいたメッセージを、ほんの一部ではありますがご紹介いたします。



皆さまからの10周年記念メッセージ



「ねえみちよって」創刊10周年、おめでとうございます。松江市は、「こどもまんなか社会」の実現をめざし、親子で楽しめる子育てイベントを開催したり、なんでも相談できる「こども家庭センター」を整備したりすることを通じて、子育てしやすい社会環境の充実化に取り組んでいます。これからも、「ねえみちよって」に関わるみなさんとともに、子育て世代やこども・若い世代の思いにお応えして、「ここに生まれて良かった こので育てて良かった」と実感していただけるよう力を尽くしてまいりますので、市民のみなさんのお力添えをお願いいたします。

松江市長 上定 昭仁



「ねえみちよって」の表紙が好きです。松江市のこども達をとりまく世界観が、毎号、素敵に切り取られています。伝えたいコト・モノがあるときに、いかに“知りたい”“見てみたい”と相手に想ってもらえるかを日々考えていますが、「ねえみちよって」の表紙は、そんな“知りたい”“見てみたい”の気持ちをくすぐってくれます。松江市の子育て世代を中心に、10年間くすぐり続けてくださった編集委員のみなさん、ありがとうございます！

松江市広報課長 平塚 久美子



「ねえみちよって」発刊10周年、心よりお祝い申し上げます。vol.1～vol.9では編集員として「コウちゃんが行く」のコーナーで、松江の子育てスポットを紹介させていただきました。幼かった息子と創刊号から共に歩んだ10年は、私にとってかけがえのない時間です。11歳になり「ねえ、みてて！」と言われることも減りましたが、不安な子育て期を支えてくれた誌面に感謝でいっぱいです。これからも松江の親子に寄り添う存在であり続けてください。

河野 美知



タイトルを決める最初のころの会議。数ある候補の中で全員が「これだね」と大きくうなずいたとき、道筋がはっきりと見えました。「きょううまくいく」あれから10年。子どもたちと「ねえみちよって!!」が成長するほどに、私は齢(よわい)を重ね、今や後期高齢者の身。しかし、あの当時の新鮮な気持ちを大切に、多くの高校生たちと意見交換やゲーム、時にバーベキューなどを楽しみ、みんなから「松もっちゃん」と呼ばれてひとり悦に入っています。次の目標は20年。年取るほどに幼児に戻るといいますので、これからは私も「みちよって!!」

松本 英史(元 松江市政策部広報専門監)



創刊号から vol.5 まで携わらせていただきました。英語のオシャレなタイトル候補を押しつけて「ねえみちよって!!」が決定した瞬間(笑!)を鮮明に覚えています。松江のことが大好きな皆さんと、一緒に取材した美術館や子育て支援センター(コウちゃんも赤ちゃんでしたね^^)、締め切り前の「祭り」と呼ばれる大騒ぎも懐かしく、市役所生活の中でも特に印象深く楽しい思い出です。これからも、「みちよって」を手取る日を楽しみに待ってますね。

山崎 文子(元 松江市秘書広報課 広報室長)

